城南の保健

組織現勢（5月1日現在）

組合員数	24,998世帯
出資口数	92,840口
4月の新規加入	52世帯
4月の増資口数	406口

No. 330　再生紙を使用しています。

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局　大田区大森中1-22-1 2階
TEL（3762）0266
振込銀行　さわやか信用金庫大森支店
口座（普）0469459
発行　「城南の保健」編集委員会
毎月1回発行・定価1部　30円

新病院本館竣工祝賀会へのご参加ありがとうございました

4月18日㈰に大田病院本館竣工祝賀会および新病院内覧会を行いました。当日は天気にも恵まれ暖かい穏やかな日となり、祝賀会には450人の参加、内覧会には530人の方々が新病院の見学に来ていただきました。

祝賀会会場も普段使用できない近隣小学校体育館とランチルームを校長先生の計らいで特別にお借りすることができ、前日の土曜日から準備に入り当日を迎えることとなりました。

祝賀会には大田区からは副区長と福祉部長、地域の病院、地元の開業医の方々、町会や地元住民の方、つながりの深い大森消防署救急隊責任者、また元職員や民医連の仲間など全国から集まっていただき、地域の方々に支えられている病院に相応しい祝賀会となりました。

昨年取得した無料低額診療の推薦書を書いていただいた大田区福祉部長の挨拶では、今後も区として大田病院の医療活動に対して可能な限りの支援をしていきたい。労災病院長からは歴史をふり返り、大田病院と開設時期が同じ年であったことや、地域病院にCTがない時期に大田病院が先駆的に導入し連携をとった経過など紹介していただき、急性期医療から慢性期、回復期リハ、在宅や介護まで地域丸ごと責任を持ち、地域医療の展開をしている紹介などしていただきました。

なにより今回の祝賀会には近隣開業医の先生方、地域5ヶ所の町会長、多くの地元住民の方々に参加をしていただいたことで、地域とともに歩んでいる医療機関として再確認することができました。また、建設費高騰のあおりを受け新病院でのMRI導入を断念していたところ、共同組織の方々が中心となり「MRIを贈る会」を結成していただき、現在まで募金・基金で8400万円が集まり、建設成功のために大きな運動をつくりあげていただきました。祝賀会でのMRI贈呈式では多くの方から驚きと拍手をいただきました。

理事長・院長の挨拶では、これまでもいくつかのハードルを乗り越え、地域の方々とともにここまで来たこと、これからさらに地域の救急医療や地域医療機関との連携を強化することの必要性を改めて表明しました。

内覧会では地域・近隣の方々も多く見学に来ていただき、新しくなった大田病院を見学されました。病院は5月1日開設、2期工事の終了は来年3月です。引き続きこれまでの医療に対する姿勢を変えず、日常医療活動を展開していくことが確認できた会となりました。

（城南福祉医療協会事務理事　土井周次）

あいさつする田村院長

職員による合唱と演奏

竣工を祝って“かんぱ～い”

参加者を迎える権守理事長

すがはらやすのり さん

毎年恒例　春の健康バスハイクに208人参加！

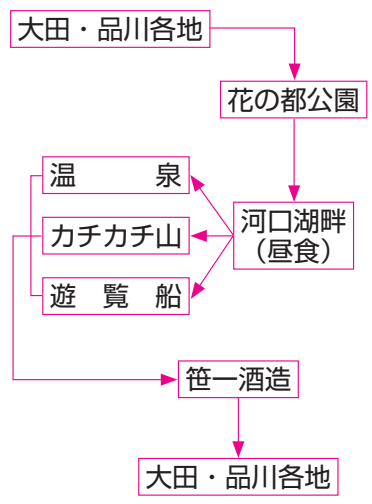
今年のバスハイクは「富士山の絶景と河口湖満喫の旅」。毎年恒例の日帰り旅行です。

4月25日㈰、お天気にも恵まれ春らしいというよりは初夏のような陽気の中、最初の目的地・花の都公園へと向かいました。バスの中でガイドさんから「今年は天候不順のため花がほとんど咲いていません」とのちょっと寂しいお知らせが…、自然現象にはかないません。これも仕方なしと思っていると、高速をおりて目的地へ向かう車窓から見事な桜を見られました。東京ではもう散ってしまった桜をまた見ることができて、なんだかうれしい気持ちになりました。

【2面につづく】

眼下に広がる河口湖

バスハイク行程



腹八分

参議院選挙が近づいています。普天間基地移設・後期高齢者医療制度・若者と雇用・政治とお金・食料自給、さらに城南の地域では「日本の宝・大田の町工場」も争点です。その中で政権交代を機に、定住外国人の地方参政権法案が争点に浮上してきました。永い歳月永住外国人として日本に寄与してきた人々に、行政の受け手としてばかりではなく「担い手」としての道も開くべきではないか。という意見の一方で、小規模な自治体では、特異な考えを持つ外国人集団の進出で自治体に混乱をもたらすのでは、という反対意見もあります▼決して特異な団体ではないけれど参政権付与の対象になるのは、在日コリアンの人々が圧倒的多数を占めています。この問題について韓国民団の幹部のひとりは「選挙権を政争の具にしてほしくない」と述べています。先進の国に学ぶとともに、外国人を危険視する風潮を改めることが大切です。日本はアジアにありながら、欧米特にアメリカに阿り、アジアを蔑視する傾向を払拭しきれていません。今年は日米安保条約改定50年、そして韓国併合100年の年です。いま普天間基地移設で政権は迷走をくり返しています。日米安保を抑止力とする勢力の混迷を現わしています。抑止力の対象はアジア、特に朝鮮半島にある勢力です▼いま韓国併合100年を期に日本・韓国で共同の研究がはじまっています。日本で参政権を持たない人々は、かつて人権はもとより、日本によって国の主権をも奪われていました。